



福岡県感染症情報ホームページでは、
感染症発生情報、病原体検出情報などを
ご覧になれます。

がん感染症疾病対策課感染症対策係
担当 中尾 長藤
直通：092-643-3597
内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第38週（令和8年9月14日～令和8年9月20日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・麻しんの報告が12件ありました。麻しんは、麻しんウイルスによる感染症で、その感染力は非常に強く、空気感染、飛まつ感染、接触感染により感染拡大します。特に海外では、麻しんの流行が報告されている地域があり、諸外国を推定感染地域とする輸入事例も確認されています。感染すると、約10日後に発熱や咳、鼻水、目の充血などの風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。発熱、咳、発しん、鼻水、目の充血など麻しんに特徴的な症状が現れた場合は、医療機関に電話で連絡し、海外渡航歴の有無、ワクチン接種歴等を伝え、指示に従って受診してください。受診の際は、周囲への感染拡大を防ぐために必ずマスクを着用し、公共交通機関の利用は避けてください。麻しんの予防には、ワクチン接種が有効です。定期接種の対象年齢の方は、早めに予防接種を受けましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	11	575	265	10,488
腸管出血性大腸菌感染症	6	165	148	3,090
レジオネラ症	2	50	57	1,803
アメーバ赤痢	1	15	10	357
急性脳炎	1	27	6	359
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	46	11	917
後天性免疫不全症候群	1	45	11	659
梅毒	12	527	163	8,158
百日咳	8	214	57	4,338
麻しん	12	22	6	558

■ 定点把握疾患報告数

：警報

：注意報

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	89	0.73	0.84	9,122	2.44
インフルエンザ	652	5.34	1.21	20,697	5.54
急性呼吸器感染症	7,732	63.38	1.18	208,242	55.87
RSウイルス感染症	133	1.90	0.81	2,522	1.12
咽頭結膜熱	59	0.84	0.98	546	0.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	141	2.01	0.83	3,280	1.46
感染性胃腸炎	392	5.60	0.91	8,555	3.80
水痘	27	0.39	1.23	369	0.16
手足口病	71	1.01	1.29	3,278	1.45
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	63	0.03
突発性発しん	29	0.41	0.88	690	0.31
ヘルパンギーナ	44	0.63	2.00	2,255	1.00
流行性耳下腺炎	6	0.09	6.00	114	0.05
急性出血性結膜炎	0	0.00	—	7	0.01
流行性角結膜炎	93	3.58	0.74	455	0.66
細菌性髄膜炎	0	0.00	—	6	0.01
無菌性髄膜炎	2	0.13	—	24	0.05
マイコプラズマ肺炎	4	0.27	1.00	210	0.44
クラミジア肺炎	0	0.00	—	9	0.02
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	—	3	0.01